

4年生用

ゼミコースアウトライン Seminar Course Outline

For 4th year students

教員名(Name) : _____

*ゼミタイトル Seminar Title

(オンライン) 国際共修と異文化コミュニケーション

*授業概要 Outline of the contents

基本的には、古村先生の昨年度のゼミを引き継ぐ。

1 期は、日本社会における異文化的課題について、論文の要約と分析を、ペアまたはグループで発表します。その後、実際に、その課題について当事者へのインタビュー、フィールドワークなどを通じて、彼らが実際に感じている課題について理解を深め、その解決方法をグループで考える。

2 期は、コスタリカ、台湾の大学生とオンライン共修、さらに/または、NUFS 国際学生との対面による共修を行います。同時に基礎的コミュニケーション学の理論のうち、下記について学びます。

- ・アイデンティティとコミュニケーション
- ・メディアでつくられる文化
- ・グローバル化する世界の異文化接触
- ・コミュニケーションの阻害要因
- ・多文化とうまくつきあうために

共修でのトピックは、これまでのところ、キャリアプラン、興味のある企業、自分の国の給与システム、各自の地元について、時間の使い方、通勤方法などでした。(グローバル) 社会課題等のトピックなどについて共修もできるといいと思っています。

*授業の形式 How the class is conducted

演習を中心とします。1 期は論文を読んで、ペア・グループで批判的思考方法を用いて要旨作成後、発表し、ディスカッション、アクティビティ、フィールドワーク、インタビュー、ロールプレイなどを行います。

2 期はテキストの内容を学ぶと共に、グループまたはペアでコスタリカ、台湾の大学生、NUFS 国際学生と(オンライン) 共修します。調査を行い、プレゼン動画作成、英語による Zoom での議論や Padlet を通じたテキストコメントのやり取りを行います。

*課題・成績評価基準 Requirements and Assessment

個人発表、ペア・グループ発表、プレゼンテーション、リフレクションなどを基に総合評価を行います。

***その他 Others**

実際に日本在住の外国の人々との交流を積極的に行い、コミュニケーション力を高めたい学生の受講を歓迎します。

1 期用テキスト：配布資料を予定

2 期用テキスト（3 年次ゼミと同じテキストです）：『異文化コミュニケーション論』
八島智子・久保田真弓（著）松柏社 978-4775401842 2640 円